

令和3年度 農山漁村振興交付金(山村活性化対策) 事業実施主体 評価結果

1. 事業評価の実施

3年度に実施された農山漁村振興交付金(山村活性化対策)の事業について、「農山漁村振興交付金(山村活性化対策)実施要領」(平成30年3月28日付け29農振第2261号農林水産省農村振興局長通知)の第9の1の(1)の規定に基づき、評価を行ったので、その結果を公表する。

2. 評価結果

都道府県	市町村	事業実施主体名	事業実施段階			評価	評価コメント
			R2	R3	R4		
岩手県	軽米町	軽米町地域おこし推進協議会	●	●	□	B	

(注1)「事業実施段階」の凡例: ○…交付対象年度(計画) ●…交付対象年度(実施済) □…目標年度(計画) ■…目標年度(実施済)

(注2)「評価」の区分: A…優良 B…良好 C…低調

3. 第三者の意見聴取

農山漁村振興交付金(山村活性化対策)実施要領の第9の1の(1)の規定に基づき、第三者である兼田 英明氏から評価に当たり意見の聴取を行った。第三者及び意見聴取の概要は以下のとおり。

【第三者】

兼田 英明 (岩手県軽米町商工会 前事務局長)

【意見聴取の概要】

今年度の実績は商品開発に関しては当初予定の7個を大幅に上回る16個を達成することが出来た。これは地元業者の協力が大きいと思われる。しかしながら新型コロナウイルスの影響もあり前年度の商品開発に伴う売り上げを計上することが出来ていないようである。雇用に関しては、第三セクターにおいて3名の雇用があった。新商品開発とともに新人の雇用が伸びたことは町としては喜ばしいことである。さらに新商品開発に地元業者が協力的になっていることも前年度から大きく変わった点である。最終年度に向けて今後は販促にも力を注いでもらいたいと感じる。